

○ 個別活動報告

- ① 環境保全活動・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- ② 保全活動ミーティング・・・・・・・・・・・・ 2
- ③ 事業・計画ミーティング・・・・・・・・・・・・ 6
- ④ 信太山里山講座・・・・・・・・・・・・・・ 6
- ⑤ 生きもの観察会・・・・・・・・・・・・・・ 7
- ⑥ 湿地保全調査 (PP)

## ① 環境保全活動

### ○概要

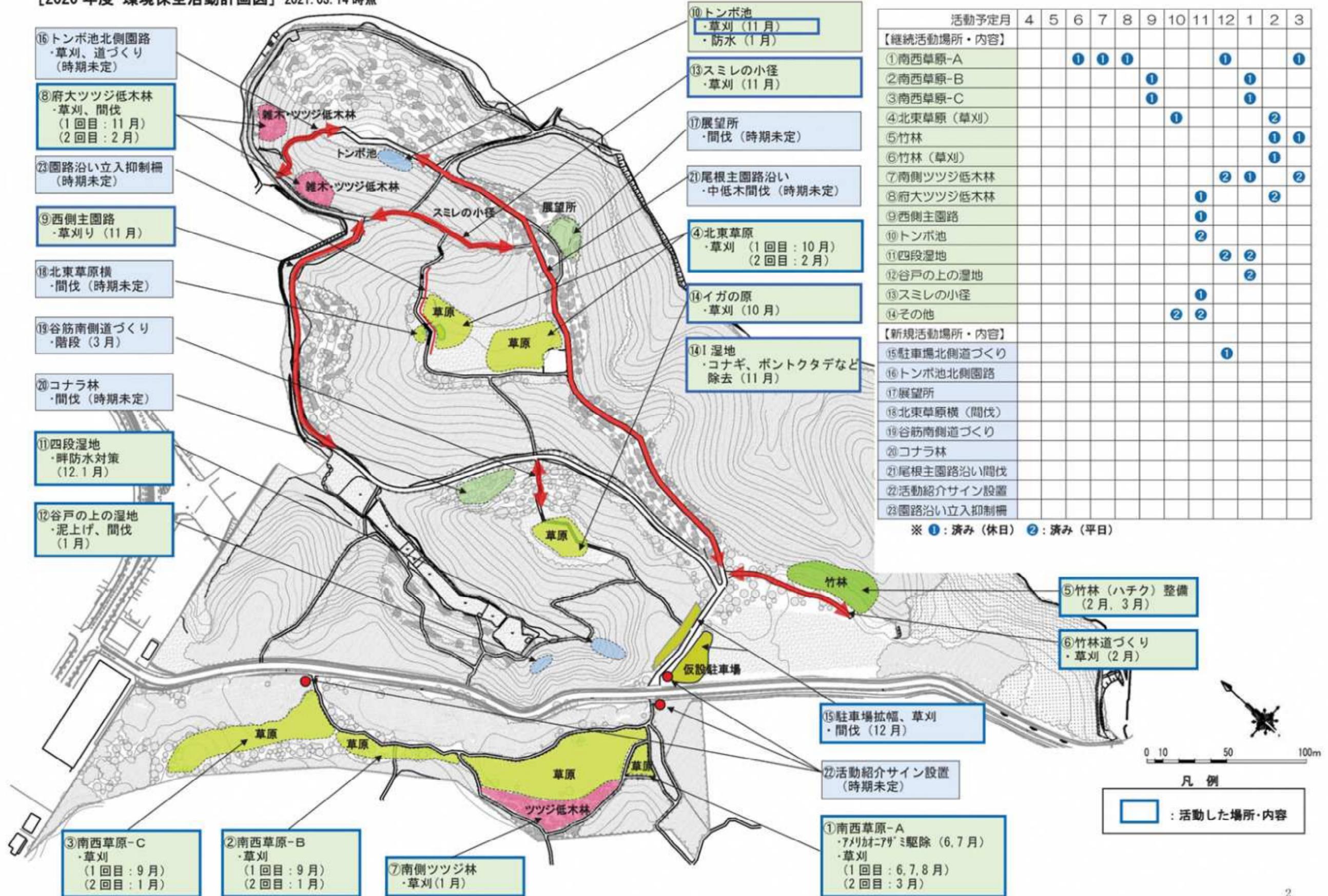
令和2年度12月以降の環境保全活動は、計7回実施。

実施日、参加人数、団体、活動場所および活動内容については以下の通りである。

(活動時間;10:00~12:00)

実施日	活動名称	参加人数	団体	活動場所および活動内容
令和2. 12.6(日)	第55回 環境保全活動	37	・NPO信太の森FANクラブ ・NPOいずみの国の自然館クラブ	①西側エリアの草原のネザサなどの草刈り ②東側エリアの仮設駐車場拡大のための草刈り
令和2. 12.15(火)	平日 環境保全活動	10	・NPO信太の森FANクラブ ・NPOいずみの国の自然館クラブ	①西側エリアのツツジ林のネザサなどの草刈 ②東側エリアの湿地Aの草刈り
令和2. 1.10(日)	第56回 環境保全活動	31	・NPO信太の森FANクラブ ・NPOいずみの国の自然館クラブ	①西側エリアのツツジ低木林の草刈り ②西側エリアの草原のネザサなどの草刈り
令和3 1.19(火)	平日 環境保全活動	12	・NPO信太の森FANクラブ ・NPOいずみの国の自然館クラブ	①湿地Aにおいてカスミササユウオ産卵のための環境づくり ②湿地Iにおいて、コナギ、ポントクタデ等の外来植物の除去
令和3. 2.7(日)	第57回 環境保全活動	35	・NPO信太の森FANクラブ ・NPOいずみの国の自然館クラブ	①東側エリアの竹林の伐採
令和3. 2.16(火)	平日 環境保全活動	15	・NPO信太の森FANクラブ ・NPOいずみの国の自然館クラブ	①令和元年にネザサを刈取った草原で再度刈取りを実施 ②府大ツツジ林における雑木林の伐採、下草刈り
令和3. 3.14(日)	第58回 環境保全活動	56	・NPO信太の森FANクラブ ・NPOいずみの国の自然館クラブ ・和泉大津高校生	①西側エリアのヤマナラシ林の下草刈り ②東側エリアの竹林の伐採

[2020年度 環境保全活動計画図] 2021.03.14時点



令和2年度12月以降の環境保全活動は、計7回実施。

■令和2年12月6日(日) 10:00~12:00 第55回環境保全活動

内容：西側草原エリアのネザサなどの草刈り

- ・三輪氏による進行で活動を実施しました。
- ・西側エリアの草原のネザサ等の草刈りと東側エリアの仮設駐車場拡大のための草刈を行いました。



■令和2年12月15日(火) 10:00~12:00 平日環境保全活動

内容：西側ツツジ林、湿地Aのネザサ等の刈取り

- ・田丸氏による進行で活動を実施しました。
- ・西側エリアのツツジ林の草刈りと東側エリアの湿地Aの草刈を行いました。



■令和3年1月10日(日) 10:00~12:00 第56回環境保全活動

内容：西側エリアのツツジ低木林の草刈りと草原のネザサの刈取り

- ・三輪氏による進行で活動を実施しました。
- ・西側エリアの草原とツツジ林の草刈を行いました。



■令和3年1月19日(火) 10:00~12:00 平日環境保全活動

内容：湿地Aでは水漏れ箇所には防水シートを設置。湿地Iでは、ボントクタデ、コナギ等の除去

- ・田丸氏による進行で活動を実施しました。
- ・湿地Aにおいてカスミサンショウウオ産卵のための環境づくりを行いました。
- ・湿地Iにおいて、コナギ、ボントクタデ等の外来植物の除去を行いました。



■令和3年2月7日(日) 10:00~12:00 第57回環境保全活動

内容：東側エリアの竹林の伐採

- ・三輪氏による進行で活動を実施しました。
- ・竹の侵入拡大防止のため、ハチク林における竹の伐採を行いました。



■令和3年2月16日(火) 10:00~12:00 平日環境保全活動

内容：東側エリア草原のネザサ等の刈取り

- ・田丸氏による進行で活動を実施しました。
- ・東側草原エリアのネザサの刈取りや、府大ツツジ林における雑木林の伐採、下草刈りを行いました。



■令和3年3月14日(日) 10:00~12:00 第58回環境保全活動

内容：東側エリアの竹林の伐採

- ・三輪氏による進行で活動を実施しました。
- ・西側エリアのヤマナラシ林の下草刈り
- ・東側エリアの竹林の伐採



<環境保全活動総括>

環境保全活動の中で、多様性のある二次草原の復元を目的とした草地管理は、平成27年から継続してネザサなどの刈取作業を行ってきたことから、現在ではネザサの成長が抑制され、刈取作業もスムーズに進められるようになっている。

また、コロナ禍での活動機会の減少もあったことから、平日に活動する機会を設けたことで、活動機会を増やし、湿地の環境保全活動や仮設駐車場の拡大など新たな活動に取り組むことができた。次年度は引き続き多様性の高い二次草原の復元、湿原環境と湿原性植物の保全に関する維持管理を行うとともに、新たな草原環境の創出や二次林の保全など樹林地の管理に取り組み、市民の憩いの場、自然体験の場、環境学習の場などをつくることが求められる。

## ② 保全活動ミーティング

令和2年度12月以降の保全活動ミーティングは、計4回実施。

実施日・場所、参加人数、団体、検討内容については以下の通りである。

(開催時間;12:45~14:45)

実施日	実施場所	参加人数	団体	内容
令和2. 12.6(日)	信太山丘陵 里山自然公園	12	・NPO信太の森FANクラブ ・NPOいずみの国の自然館クラブ	①環境保全活動の年間計画 ②暫定利用に向けた準備 ③その他
令和3. 1.10(日)	信太山丘陵 里山自然公園	13	・NPO信太の森FANクラブ ・NPOいずみの国の自然館クラブ	①環境保全活動の年間計画 ②暫定利用に向けた準備 ③その他
令和3. 2.7(日)	信太山丘陵 里山自然公園	12	・NPO信太の森FANクラブ ・NPOいずみの国の自然館クラブ	①環境保全活動の年間計画 ②暫定利用に向けた準備 ③その他
令和3. 3.14(日)	信太山丘陵 里山自然公園	12	・NPO信太の森FANクラブ ・NPOいずみの国の自然館クラブ	①環境保全活動の年間計画 ②暫定利用に向けた準備 その他

### ○暫定利用に向けた準備

- ・西側草原エリアにおいて、春から秋にかけて小さな花が咲く山野草等を眺めて楽しめるよう、木杭とロープを使って、約70m区間の仮設の柵づくりを行った。
- ・仮設の柵の素材については、丘陵地の自然景観に合うものを現地で検討するため、木杭、鉄ピンを実際に打ち込んで比較し、木杭を選定した。
- ・上記の園路づくり等の試行活動を踏まえ、現地で検討した内容は、第1期開園区域(西側エリア)の公園基本・実施設計へ反映できるよう企画運営会議に諮ることとなった。

12月6日



暫定利用に向けた具体的な公園イメージについて意見交換

1月10日



仮設柵の設置の考え方を共有



木杭5本と鉄ピン5本を打ち込み自然の景観に合うか比較した

2月7日



木杭の本数や仮設柵の設置個所を確認



30分程度で約70mの仮設柵をつくる

3月14日



西側エリア暫定利用の開始時期や内容について協議

#### <保全活動ミーティング総括>

保全活動ミーティングでは、即地的に年間の環境保全活動計画や活動実施計画を検討したことで、公園整備計画において利活用の場として検討してきた草地、ツツジ低木林、一部の湿地などの維持管理を概ね1年のサイクルで管理できる目処をたてることができた。

また、暫定利用の具体方策として、整備計画で検討された柵の設置箇所に、仮設の柵を設置するなどの取組を行ったことで、活動参加者の暫定利用のイメージが明確になり、次年度はサインの設置や、子どもが遊べる空間づくりに取り組む提案がなされた。

次年度以降からの暫定利用に向けて西側エリアに柵やサインを設置するとともに、開園後、市民の憩いの場、自然体験の場、環境学習の場として利用促進を図るため、東側エリアにもこの取組を拡大することが求められる。

### ③ 事業・計画ミーティング

令和2年度12月以降の事業・計画ミーティングは、1回実施。

実施日・場所、参加人数、団体、検討内容については以下の通りである。

(開催時間；14:00～16:00)

実施日	実施場所	参加人数	団体	内容
令和3. 2.9(月)	和泉市役所	12	・NPO信太の森FANクラブ ・NPOいずみの国の自然館クラブ	令和3年度の基本・実施設計に向けた整備計画案の検討と課題の整理

#### (1) 主な検討内容

12月3日の第1回企画運営会議を受けて以下の内容を検討した。

- ① 交差点部分のロードキル対策について  
・信太5号線沿いの生き物横断防止柵を園路沿いに延長することで対応する。
- ② 信太5号線沿いの柵の設置について  
・公園側の横断防止効果と道路側の転落防止効果を考慮して園路際に設置する。柵の高さは見通しが確保できるものとする。
- ③ 現市道の跡地活用  
・公園敷地内に生息するアリアケスマレの種子採取や苗の移植を検討し、スマレが咲く草原として整備する。

#### (2) 今後の課題について

3月16日の第2回企画運営会議での協議に向けて今後の課題として以下の検討項目を整理した。

- ① 主園路の舗装に関する検討
- ② 活動拠点施設の外溝及び屋外空間について検討



#### <事業・計画ミーティング総括>

事業・計画ミーティングでは、次年度の信太山丘陵里山自然公園基本・実施設計に向けて、これまでの検討内容を踏まえた整備計画を計画書として取りまとめることを企画運営会議に諮ることとなった。

次年度は、基本・実施設計に関連する施設デザインや素材などについて意見交換を行うことや、令和6年の開園時に指定管理者制度の導入される場合などを見据えて、開園後の公園管理運営に関する事項について意見交換を行う必要がある。

#### ④ 信太山里山講座

##### 〈実践学習（必修）〉

日 時：12月6日（日）10時～12時

受講生：4名（講座生3名、大学生1名）

内 容：「公園づくりの基礎と安全管理を学ぶ」と題し、器具や機械の安全な使い方についての説明を行い、その後、参加者が実際に剪定ハサミや刈払機を使う体験を行った。

講 師：三輪 健一郎氏



##### 〈保全活動（選択）〉

日 時：令和3年1月10日（日）10時～12時

受講生：3名

内 容：ツツジの丘の草刈りと草原の草刈り



##### 〈保全活動及び自然クラフト実践学習（選択）〉

日 時：令和3年2月7日（日）10時～12時

※新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言の発令（令和3年1月13日）により中止

##### 〈生きもの観察会（選択）〉

###### 修了式

日 時：令和3年2月28日（日）10時～12時

※新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言の発令（令和3年1月13日）により中止

受講生6名のうち3名が履修完了。（修了書は郵送にて配付）

##### <里山講座総括>

コロナ禍での開催のため、応募人数も少ない状況であったことや、中止した講座があったことから、半数の3名が履修できず、次年度へ受講が持越しとなった。

ガールスカウトのメンバーによる公園の利用促進に向けた講座（クラフト）など、1か所に集まって講義をする講座については、オンライン等の方策を導入するなど、今後開催手法を検討する必要がある。

## ⑤ 生き物観察会

日 時：令和3年2月28日（日）10時～12時

※新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言の発令（令和3年1月13日）により中止

### <次年度開催に向けて>

2年連続中止となった生きもの観察会であるが、一昨年度実施時のような過剰な人数が湿地などの生物の生息地に進入することや、コロナ禍での密を避けるため、次年度以降も班分けを行い、班ごとに協議会員による講師を配置し、参加者に対してきめ細かに解説を行えるよう観察会の運営手法を検討する必要がある。

## 今後の課題

事業・計画ミーティングでの公園整備計画の検討の過程において、公園開園前に多くの人に環境保全活動等の成果をPRし、活動を通じて現地を利用してもらえないかという意見が述べられ、暫定利用に向けた実施方策が検討された。

具体方策としては、整備計画で検討された柵の設置箇所に仮設の柵の設置を試み、園路づくりの考え方や柵の素材や設置位置、案内サインの設置などについて実践的に検討することにより、その成果を公園の基本・実施設計へ反映することを企画運営会議に諮ることとなった。

なお、仮設の柵づくりやサインづくりに関しては、以前信太山里山講座で受講したロープワーク（講師：ガールスカウトのメンバー）のノウハウが生かされた。このことは、「信太山丘陵市有地保全・活用基本構想（平成27年）」に示されている『信太山丘陵にふさわしい、人と自然の新たな関わり、公と民との新たな協働を順応的に実践するプログラムを持った公園として保全・活用をめざす』というアダプティブマネジメントの考え方に則したものとなった。

このことから、次年度以降も暫定利用をきっかけに学校・企業などとの連携により保全・活用の取組を広げていくことが求められる。